

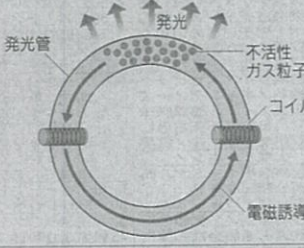
無電極ランプ増産

省エネ・長寿命

エコ照明製造のプラスアルファ（広島県福山市）は、発光管内に電極を持たない無電極ランプを増産する。福岡工場（福岡市）の製造能力を1.5倍の年産1万5000個に引き上げる。工場や体育館など大型施設向けの製品で、要望に応じ個別対応品も製造する。事業所の省電力化とこれまで主流だった水銀灯に代わる照明として製造や自治体に売り込んでいく。

プラスアルファ

プラスアルファの無電極ランプ「エコ・ループ」の仕組み



工場など向け年産1.5倍に

増産するのは「エコ・ループ」。現在製造に携わる社員数を2人増員し16人体制にする。これに加えて、これまでの2勤体制から3勤にするなど稼働率を引き上げる。事業所など屋内向け天井照明だけでなく、野外灯の製造にも乗り出す。

工場など天井高の施設に使用される水銀灯に比べ消費電力は約3分の1。明るさは1.25倍になる。発熱量も水銀灯の5分の1程度なので空調設備の電気代削減にも寄与でき

原因となる劣化や損傷が少なくことが特徴。一般的な発光ダイオード（LED）照明の寿命が4万～6万時間なのに対し、エコ・ループの寿命は約2倍の10万時間だという。

事業承継支援へ新ローン 広銀

広島銀行は2日、事業資金などを融資する。同支援する体制を整え、地域企業への融資を強化する。同業の事業承継性を高める。ローンを創設したと地方では初めてという。「事業承継サポートローン」の取り扱いは2日

高は前の期比1.5倍の約6億円だった。また、現在5億円のエコ・ループの売上高を営業強化などで増やしている。2015年9月期の売上

帰りは自転車 食材を積んで

鳥取県東部の第三セクター若桜（わかさ）鉄道は15日、地元食材のPRを兼ねたサイクルトレインを運行する。参加者は往路では自転車と鉄道に載せて移動し、自転車で移動する復路では沿道の指定地点で地元食材を手に入れられる。地元JA鳥取いなば農協（鳥取市）などの協力を得て実現した。

15日に運行



サイクルトレイン「ザック」参加者は、配布される専用ザックに食材ザックは、同鉄路に、自転車行の出発地点と道の前身、旧国鉄若桜線の開業から85周年を記念した。食材を積んでいく。「旬のフルーツや取れたての野菜を準備したい」（同社）

参加は小学生以上。参加費は大人3千円、子供2千円で、列車代や昼食、食材、保険料を含まない。30人の募集を予定しており、12日まで受け付ける。

下関―青島を休止

オリエントフェリー 衣料輸入が減少

山口県下関市と中国・青島とを結ぶ国際フェリーを運航するオリエントフェリー（下関市）は12月末で運航を一時休止する。下関港と青島港を週に2往復しているが、衣類などの輸入貨物と旅客が減少していた。運航

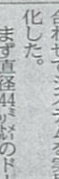
来月

フェリーは12月末で運航を一時休止する。下関港と青島港を週に2往復しているが、衣類などの輸入貨物と旅客が減少していた。運航

加工機に部材設置ロボ シグマ、低価格システム

自動車部品などを手掛けるシグマ（広島県呉市）は2日、ケムスなどにパラに入った部材を拾い上げて、加工機に設置

した。用途を絞り込み安価なカメラを使用する。所と共同開発した。同研究所は解像度の低い安価なカメラでも使える画像



まず直径44mmのドーナツ型の部材にギアの溝を加工するプレスラインを導入した。従来は人の手で部材をセットしてい

「緩やかな回復続く」日銀の4支店 景気判断維持

中国地方の日銀4支店

店長は「生産・所得・支出の好循環が維持されて輸出などの認識を示した」